



電子版機関紙

発行責任者 瀬下 啓司

県連サイト <https://www.rosansaitama.com/>

三役会議題

参参加者:瀬下、上野、橋本、岩岡

- ・3/26総会の質疑応答を受け、「自主的活動」「機関紙専門委員会の廃止」「議案書と資料集」などについて意見交換をした。9/10評議会に理事会としての考え方などを出せるようにすすめる。
- ・「自主的活動」(主に岩人・沢人など)については、規約上の解釈、支援金の有無などがポイントか。
- ・「機関紙専門委員会の廃止」提案は、現状維持(廃止はしない)の方向か。
- ・「議案書と資料集」は、事前配信、資料集掲載部分の議案書への掲載、資料集としてのWeb編集での配信など整理が必要。
- ・議案書の各ブロックの報告部分はページ数の上限設定をしたらどうか。
- ・2023年度埼玉労山役員任務分担は4/20理事会議案とし、現状の一覧表と理事長からの提案を用意する。
- ・6月24・25日(土日)理事会合宿は、より多くの参加で実施できるように理事会で検討する。
- ・全国連盟関連で、全国組織担当者会議は瀬下参加、主催者責任保険は申請内容を検討、カレンダー作成のためのアンケートは瀬下回答などを話合った。
- ・主催者賠償責任保険は、登山学校、東北復興支援、登山道整備、セルフレスキュー研究会、一般向け登山技術講習会、沢人・沢登り教室についての申込みを行った。
- ・県境リレー登山、県連ハイキングはバスハイクで、高篠峠植樹地の鹿避けビニール撤去や周辺のゴミについて状況報告があり検討した。

全国連盟

全国組織担当者会議

6/10(土)～6/11(日)

福岡県立社会教育総合センター(福岡県糟屋郡篠栗町) 参加費4,000円、交通費は全国連盟負担。瀬下出席予定

・全国自然保護担当者会議

6/17(土)～6/18(日)

長瀬荘(埼玉県秩父郡長瀬町)

6/17 講演～森孝順さん(元環境省山岳レンジャー)「地球温暖化による予想以上に進む山岳環境の変化を考える」 基調報告～浦添労山会長 地方連盟報告 6/18 取りまとめ討議 自由山行(宝登山)

詳しくは後日配信します。日帰りでの参加も可能です。

事務局

- ・理事会レジメ作成と理事への配信
- ・全国連盟などからの情報提供の各加盟団体への配信など
- ・総会議案書・資料集の作成、総会議事録作成
- ・加盟団体の「会報」の各加盟団体への配信
- ・さいたま市市民活動サポートセンター(9階)のロッカー継続
- ・第55期第一回評議会、決議・決定集を総会時に配布。欠席の会へは郵送で配布。

県連全体

理事会合宿

6/24(土)～6/25(日) ⇒ 議題の欄

財 政

①今年度から、僭越ながら財務を担当することになりました。不慣れなため、皆様にご迷惑をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願いします。

②各機関の振り込み先で、変更がある場合は、ご連絡ください。また、理事の方で振込先に変更のある方も当日承りますのでよろしくご準備ください。

組 織

特に無し。

ホームページ

ろうさん彩登99号掲載、56期定期総会写真掲載

救 助 隊

特に無し。

女 性

・改廃については引き続き検討

・取り急ぎ今期は「山筋ゴーゴー」の開催に向け準備を進める(2023年11月実施予定)

ハイキング

バス利用のハイキングを計画したい。期日11月18日、19日、23日のいずれか。場所は、日光、榛名山・赤城山、富士五湖周辺などで検討する。所属会にも希望を聞いて決めて行きたい。

自然保護

・登山道整備を3回計画する。6月、9月、12月ころ、整備が必要な登山道を把握し参加を呼びかけたい。第1回6月13日蔵山登山道。作業は杉の倒木の切断・移動

・足尾植樹

昨年同様、4日間各日定員300人で実施される。参加を希望する方は、NPO法人足尾に緑を育てる会のホームページ内にある募集フォームから申し込んでください。4/23(日)に瀬下と武笠さん、秩父アルペンクラブが参加します。

4/22(土)、4/23(日)、5/27(土)、5/28(日)に実施。

・秩父高篠峠植樹地下草刈り5/21(日) 配信した要綱を参照。参加費は今年から無料となりますが、保険加入のため必ず事前に申し込みをお願いします。

・グリーンハイク 2023年度は、各ブロックごとの実施をお願いします。全国一斉実施日は6/4(日)。報告は瀬下まで。実施日、場所、参加人数、可燃・不燃のゴミの重量を記載してください。

登山学校

・3/13運営委員会市民サポセンで行い今期登山学校開校を確認しました。4/1受講申込開始

・5/20(土)開校式

海外

- ・海外委員会の予算オーバーとなるが、今回のインドヒマラヤ遠征でパルスオキシメーターを購入したいと希望があった。賛成多数で承認(財政支出要綱要の確認が必要)。
- ・今回の遠征のしおり抜粋を各加盟団体に配信することとした。

遭難・安全

①山行分野別活動グループの性格づけについて

総会で質問のあった「岩人」「沢人」など山行分野別のグループの性格づけについては、以下のように整理したいと思います。

岩人、沢人等の山行グループは、「遭難防止安全教育委員会の下で活動する自主的グループ」と定義されているが、そのことの意味を説明すると

- 1.会の存続、役員選出、活動方針、山行計画を自分たち自身で決めていく自主的組織であり、埼玉労山の規約上の位置付けもなく、埼玉労山の組織とは言えない。
- 2.現在のところ、これらグループは、埼玉県連盟・遭難防止安全教育委員会と連携して活動することを方針にしているので、埼玉県連盟の協力団体と言える。協力団体として、県連盟の登山力アップに貢献するため、講習会などにも協力する。
- 3.埼玉県連盟にとっては、連盟活動を豊かにしてくれる協力団体として、これらグループと連携、連帯して活動し、グループに対し必要な支援を行う。主な支援としては、支援金と緊急時対応での協力である。
- 4.山行は可能な限りの安全対策を取るが、メンバーが起こした事故の責任は、メンバー自身を負うという山岳事故の自己責任の論理はここでも適用される。グループ活動中の個々の事故について、連盟や理事会などの責任が問われることはない。
- 5.どの団体を協力団体とみなし、支援を行うかは、活動内容、協力の実態を見ながら、毎年検討していく。

②4.8雪上技術 雪山セルフレスキュー技術講習会を、7山岳会、21名の参加で、実施しました。当日は、曇りのち雨の天気でしたが、谷川岳マチガ沢下部の雪壁や雪面を利用して、様々な訓練を行いました。

③6.18に、「沢人」と共催で、丹沢のセドノ沢左俣において、今年度最初の沢登り教室を行います。チラシを作りましたので、各会への配信をお願いいたします。

ブロック活動報告

	会議 日程		
西部	4/13	金原	4/13(木)ブロック会議
南部	4/21	伊藤	3月は会議は無し次回グリーンハイクの場所選定 4/21(金)ブロック会議、6/4(日)グリーンハイク
中部		加藤	次回ブロック会議2023.5/17(水)大宮シーノビル9F 19:00～ 6/3(土)グリーンハイク
北部		小暮	無し

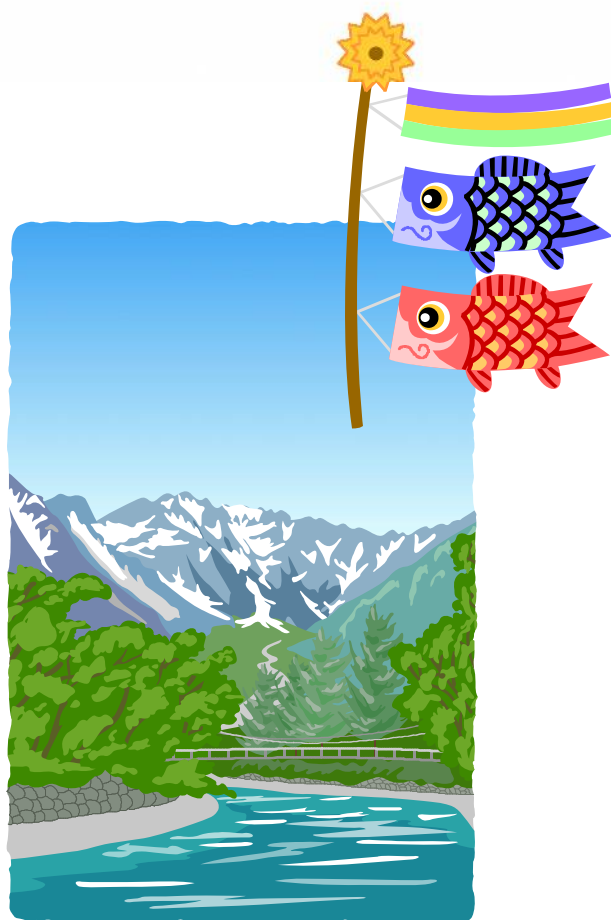
3つの特別委員会とミニ講座

会議 日程	
埼玉の山旅	3月21日県境'ルー登山 棒の折ー蕎麦粒山間を3名で実施、甲武信ヶ岳ー笠取山間の計画を4月始めに各会に配信し参加者を募集開始し、現在申込み2名、理事の皆様、所属会の方にも参加を呼びかけていただきたい。
登山祭典	会議2023.3/6(月)19:30～浦和コミセン9F。具体的な案をさらに練り上げていく。 4/17(月)会議。次回会議5/15(月)。 申込み開始～6月下旬、第1次〆切8月末、最終〆切9月末。
会員拡大	
ミニ講座	2023年度は、土日に実施される県連主催の会議と同一の日に行う。年に2回程度の実施としたい。

Topics

○次回 三役会議日程:2023年5月24日(水)場所:Zoom

○次回 理事会日程:2023年5月31日(水)場所:浦和コミセン第10集会室
司会～瀬下、記録～橋本



議 題

○ 2023年度埼玉労山役員任務分担

別紙「2023年度埼玉労山役員体制(役割分担)」で各理事の分担を確認。事務局長欄から機関紙を削除。理事会初回のため、出席理事9名の自己紹介を行った。

○ 6月24・25日(土日)理事会合宿

6/24(土)～6/25(日)北本市野外活動センター

6/24 午後5時集合 バーベキュー準備 午後6時～懇親会 6/25 午前9時～午前11時

全国組織担当者会議報告と組織拡大についての議論

両日参加を原則としますが、どちらか1日の参加でも結構です。バンガロー2棟予約済 理事08の参加も結構です。参加費～バーベキュー代として3,000円程度(割り勘)

○ 3月26日の第56期定期総会について(報告)

場所:市民会館おおみや 集会室8時間:13:30～16:40

1. 議事に入る前に事務局長より、開会を告げ、議長・書記・総会運営員の選出をした。

・瀬下理事長より代表挨拶と全国連盟の久保副理事長から来賓挨拶がされた。

・資格審査より、代議員54人(実出席44人・書面議決8人)の出席報告があり、定数58人の過半数出席で本総議会が成立していることを確認した。

・本日の進行については、「総会議事進行表」通りに進めることを確認した。

2. 議事

(1) 第一号議案「活動報告」と第二号議案「活動方針」について、全体を理事長(瀬下)、海外(真)・遭難防止安全教育(上野)・登山学校(小松)・登山道整備(橋本)・3つの特別委員会(上野・千葉・瀬下)の7つを各担当理事から一括して報告提案があった。続いて、2022年度決算報告が鹿喰理事より、また、2022年度会計監査報告が高野監事・加藤監事よりあった。さらに、2023年度予算提案が村口理事よりあった。

(2) 議案に対する質疑応答がされた。主な内容は以下の①～⑤であった。

①規約改正の有無、資料集のWeb配信、新加盟団体の代議員定数、おすすめルートのフォーマットなどについて質問があり、それぞれ回答があった。

②決算・予算については、ブロック活動費の金額の差、事故対策積立金、事務所維持費、繰越金の基準、安全対策基金の収入欄記述と支出欄記述の関係、行事積立金の名称などについて質問や意見があり、それぞれ回答があった。

③遭難防止・安全教育委員会の報告提案について、評価するとともに、さらに基準や報告や記録について強化してほしい旨の意見があった。また、「自主的活動」についての活動紹介や質疑応答があった。埼玉労山会員の関わる山岳事故の分析・検討の共有化の意見があった。

④機関紙専門委員会の廃止を理事会として考えていることについて存続したほうが良いのではとの意見があった。

⑤議案書の事前配信の要望意見があり、資料集のWebと紙、現在資料集記述部分の議案書への編入など、資料集と議案書の全体的な見直しを検討するとの回答があった。

(3) 第一号議案・第二号議案の採択に入り、上記の質疑応答の内容を含め、全議案が賛成多数(拍手)で可決された。

(4) 第三号議案「第56期役員選出」について別紙が配布され、鹿喰理事より提案があり、理事・監事が確認された。

・退任理事の挨拶・閉会挨拶の中で理事会の新たな三役体制の報告があり、総会は閉会した。以下、総会議事録ではないが、3. 総会終了後(16:40～16:50)

(1) 埼玉県勤労者山岳連盟主催インドヒマラヤ登山・トレッキング隊の壮行会を行った。

(2) 17:00までに全員で会議室の片付けを行い、すべて終了した。